

〈番組審議会開催に関する報告〉

令和6年3月

平塚市宝町3-1平塚MNビル10F

湘南ケーブルネットワーク株式会社

代表取締役 柏手 茂

1. 開催日時：令和6年3月7日（木）15：00～16：15

2. 開催場所：湘南ケーブルネットワーク株式会社 会議室

3. 委員の出席 委員の総数 5名
出席委員数 4名

出席委員 石川 旺（上智大学文学部新聞学科名誉教授）
樋口 喜昭（東海大学文化社会学部広報メディア学科教授）
佐藤 則子（湘南百番寄席 席亭・中華百番 代表）
若狭 裕樹（平塚商工会議所青年部 元会長）

放送事業者 柏手 茂（代表取締役社長）
太田 努（専務取締役）
村上 実樹（制作編成グループ担当次長）
尾仲 善文（制作編成グループ担当次長）

4. 議題 ①番組審議会（審議機関）について
②ケーブルテレビ事業概要について
③地域チャンネル番組編成について
④現行の放送番組について
⑤その他

5. 議事録の概要

当社代表取締役・柏手茂より新年早々の能登半島地震にふれ、被災された方へ哀悼の意を表した
湘南エリアで被害が起きた時、サービスを継続させるため、改めて考えさせるきっかけになった
ケーブルの幹線や、電気の問題（発電機・燃料など）の設備を改めて整備したい、情報の提供映像をみせることが大事なので、定点カメラを増加してその映像を放送する支援情報をどこから受けるかを検討、制作に関しても検討（社内・外部）、被害大の時はSNSなどを使って情報提供する事を検討
コミュニティチャンネルについてはこれからも重要なコンテンツだと考え推進していくのでご意見を頂きたいと開会の挨拶を行う
その後、専務取締役・太田努よりケーブルテレビ事業について説明
また、制作編成担当・村上実樹より令和5年度のコミュニティチャンネル（湘南チャンネル）の編成・番組について説明のうえ、審議委員よりご意見を伺った

6. ご意見の内容

◇サービスについて

NET配信とサブスク（VOD）と一緒に契約するメニューは検討してみたら…
→現在提供しているスマートケーブルテレビサービスは、放送と通信を一体化したサービスで、様々なサブスクも視聴することが可能
各サブスクの契約については、従来どおり各契約者様に行って頂き、STBがプラットホームとなることをこれまで以上に宣伝していきたい
併せて、CATVの専門チャンネルの良さをPRするとともに、地域情報（災害関連情報など）を充実させ、現在のサービス+アルファになることを検討していきたい

◇LIVE配信について

YouTubeなどで定点カメラの映像（震災・防災の観点から）を配信してみても…
→現在、時間帯によってコミチャンで河川・道路カメラを放映中で、定点カメラなどの情報を固定チャンネルで放映することは可能であり、検討していきたい

◇テレビサービスの視聴ターゲットは…

→50代以上の利用が高く、10代・20代の加入が厳しいことを把握

◇災害情報について

地域との連携を強化することで有意義な情報を発信することが可能となるのでは…
災害対策本部の情報だけではなく、SNSからの投稿、もしくは特派員制度を
設けてみては…

→SNSなどの情報を精査することは労力的にも難しいのが現状で、
しっかりとした組織体を形成し、地域と連動することで情報提供の強化につながるので
この件については改めて検討していきたい

◇現行の番組について

- ・情報カフェ！湘南館ワイドのキャスターの表情がもう少し柔らかくても良いのでは…
 - ・番組内で地名の呼び方について整理した方がよいのでは…
- 今後も適宜、確認して発信していく
- ・JC10min について内容などの見直しを図ってみては…
 - ・BGM と併せた映像（子供たちが描いた作品など）があっても面白いのでは…
 - ・花火大会の中継は良かった

以上